

群馬大学・秋田大学 連携 第3回 生体情報研究シンポジウム

～グローバル COE プログラム「生体調節シグナルの統合的研究」の新展開～

主催：秋田大学 生体情報研究センター 共催：群馬大学 生体調節研究所



平成 26 年 8 月 7 日 (木) 13:50 - 18:50

会場 秋田キャッスルホテル 4階 矢留の間

13:50-14:00 開会挨拶 山本 文雄 (国立大学法人 秋田大学 理事)

Session 1 座長 石井 聡 (秋田大学 医学系研究科 生体防御学講座)

14:00-14:20 中西 広樹 (秋田大学 生体情報研究センター)

ホスホイノシタイドの高感度分析法とアシル基多様性の意義

14:20-14:40 大嶋 紀安 (群馬大学 医学系研究科 生化学講座)

ラット脳ジアシルグリセロールリパーゼの精製と機能解析

14:40-15:00 石井 聡 (秋田大学 医学系研究科 生体防御学講座)

リゾホスファチジン酸受容体 LPA4 による間葉系細胞の機能調節

15:00-15:20 栗山 正 (秋田大学 医学系研究科 分子生化学講座)

生体内集団的細胞遊走にはリゾ脂質受容体 LPAR2 依存的な組織流動性の上昇が必要である

15:20-15:40 休憩 (20分)

Session 2 座長 今井 由美子 (秋田大学 医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座)

15:40-16:00 黄 明国 (秋田大学 医学系研究科 腎泌尿器科学講座)

高脂肪食下の前立腺癌進展におけるパルミチン酸とその関連酵素 FASN の役割

16:00-16:20 関本 隆志 (群馬大学 生体調節研究所 遺伝子情報分野)

Y-family ポリメラーゼはがん遺伝子が誘導する DNA 再複製に関与する

16:20-16:40 野口 拓也 (群馬大学 生体調節研究所 分子細胞制御分野)

癌抑制遺伝子 STK11 による細胞死制御機構

16:40-17:00 佐久間 稔恵 (秋田大学 医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座)

インフルエンザウイルス感染症におけるヒストンメチル化制御

17:00-17:20 休憩 (20分)

Session 3 座長 泉 哲郎 (群馬大学 生体調節研究所 遺伝生化学分野)

17:20-17:40 山崎 正和 (秋田大学 医学系研究科 細胞生物学講座)

位置情報に対する細胞集団の向きを決定する機構

17:40-18:00 柴田 宏 (群馬大学 生体調節研究所 細胞調節分野)

GLUT4 の局在と寿命決定因子としてのレトロマーの役割と機能調節機構

18:00-18:20 清水 辰徳 (秋田大学 医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学講座)

肥満・糖尿病における男性不妊 ー精巣における GIP シグナルの影響ー

18:20-18:40 北舘 明宏 (秋田大学 医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学)

マイクロ RNA デリバリーによる悪性リンパ腫の臓器浸潤抑制

18:40-18:50 閉会挨拶 高田 邦昭 (国立大学法人 群馬大学 学長)